第35巻　第1号　2021年7月31日発行（通巻57号）　ISSN 1880-4837

大阪作業療法ジャーナル

Journal of the Osaka Occupational Therapy Association : JOOTA

特集　コロナ禍における作業療法

巻頭言　神尾　昭宏　1

特集
コロナ禍における大阪府作業療法士会での取り組み　関本　充史　2
外出自粛だからこそ、作業療法士の“知”を発信する!
―コロナ禍における大阪府作業療法士会作業療法推進部のチャレンジ―　田丸　佳希　8
「オンライン臨床講義」を用いた「学内実習」の実践　津田　勇人　13
精神科病棟におけるカメラを用いた生活状況評価と生活指導の取り組み
―COVID-19下における新たな退院支援戦略の提案―　石丸　大貴　23
外出自粛高齢者等機能評価プログラム
「わになろなにわ健康塾」の取り組みについて　久保田奈美　30
COVID-19流行における在宅支援の取り組み
―サービス休止者へのフォローアップを中心に―　蕨野　浩　37

新コーナー
明日から使える評価方法
Time Pressure-Kiken Yochi Training 効果測定システムの紹介　有久　勝彦　43
自閉スペクトラム症児の食行動質問紙（Autism Spectrum Disorder-Mealtime Behavior Questionnaire；ASD-MBQ）の紹介　中岡　和代　48

書評カフェ　岡部　亮子・福井　信佳・福井　篤志　51

となりの街の作業療法士
中河内ブロックの活動から始まった人間関係の広がり、新たな仕事との繋がり　溝口　聡　54
当院の新人教育システムとブロック活動について　田淵　成臣　59

実践報告
コロナ禍のオンライン当事者・家族会の実践
―オンラインで生活と作業状況の個別調査と交流会―　松下　真拡　63

Vol. 35 No. 1
Jul 2021

OT SAKA　（一社）大阪府作業療法士会

大阪作業療法ジャーナル

第35巻　第1号

巻 頭 言　神尾　昭宏 …… 1

特　　集：コロナ禍における作業療法

コロナ禍における大阪府作業療法士会での取り組み　関本　充史 …… 2

外出自粛だからこそ、作業療法士の“知”を発信する！
―コロナ禍における大阪府作業療法士会作業療法推進部のチャレンジ―　田丸　佳希 …… 8

「オンライン臨床講義」を用いた「学内実習」の実践　津田　勇人 …… 13

精神科病棟におけるカメラを用いた生活状況評価と生活指導の取り組み
―COVID-19下における新たな退院支援戦略の提案―　石丸　大貴 …… 23

外出自粛高齢者等機能評価プログラム
「わになろなにわ健康塾」の取り組みについて　久保田奈美 …… 30

COVID-19流行における在宅支援の取り組み
―サービス休止者へのフォローアップを中心に―　蕨野　浩 …… 37

明日から使える評価方法

Time Pressure-Kiken Yochi Training 効果測定システムの紹介
有久　勝彦 …… 43

自閉スペクトラム症児の食行動質問紙
（Autism Spectrum Disorder-Mealtime Behavior Questionnaire;
ASD-MBQ）の紹介　中岡　和代 …… 48

書評カフェ　岡部　亮子・福井　信佳・福井　篤志 …… 51

となりの街の作業療法士

中河内ブロックの活動から始まった人間関係の広がり、
新たな仕事との繋がり　溝口　聡 …… 54

当院の新人教育システムとブロック活動について　田淵　成臣 …… 59

実践報告

コロナ禍のオンライン当事者・家族会の実践
―オンラインで生活と作業状況の個別調査と交流会―　松下　真拡 …… 63

投稿規定 …… 71

著作権規定 …… 73

執筆要領 …… 75

投稿論文チェックシート …… 77

編集後記・部員名簿 …… 78

新コーナー

「明日から使える評価方法」

35巻1号より新コーナーが立ちあがりました（p43～）。ご自身が開発された評価方法、使ってみて便利、興味深いと感じる評価方法の紹介をするコーナーです。是非紹介したい！ 評価方法、バッテリー、スケールがある方は、まずジャーナル編集部（jimu@osaka-ot.jp）までお問合せ下さい。

＊評価方法、バッテリー、スケール、質問紙などはオリジナル版の掲載をお願いします。

＊原著者に限りません。

（大阪作業療法ジャーナル編集部）

お問い合わせの際は表題に「明日から使える評価方法」についてと記載して下さい。1週間経過しても返信が無い場合は、再送いただくかお電話でお問い合わせください。

巻頭言

コロナ禍での作業療法

神尾　昭宏
大阪府作業療法士会 教育部・福利厚生部
森之宮病院 リハビリテーション部

厚生労働省の発表に「新型コロナウイルス」に関する情報が初めて登場したのは2020年1月6日でした。その時点で、現在の大阪の状況を予測出来た方は少なかったのではないでしょうか。その後、国内初の感染者が同年1月16日に確認され、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」での集団感染が大々的に報道されるようになり、徐々に感染対策に対する意識が高まった事を記憶しています。世界規模での感染拡大を受けて、世界保健機関（WHO）は同年3月11日に「パンデミック」に相当すると認定。この時期より私が担当する大阪府作業療法士会主催の対面での研修会は見合わせ・中止の方針となり、開催形態を WEB に移行していく事になりました。また、当院回復期リハビリテーション病棟では、家族の面会制限、入院時・退院前訪問指導や退院後訪問調査等の訪問業務の中止及び代替手段の検討、家族指導の見合わせ等、外部との接触を出来るだけ制限した中での業務遂行が余儀なくされました。感染対策も強化され、感染リスクの高い食事や整容場面への介入制限、個人防護具の使用、勤務場所のゾーニングの徹底等、日々の臨床のみならず、管理・運営面での対応に追われた事を今でもよく覚えています。

あれから1年が経過し、筆者が本記事を執筆している2021年4月25日、大阪では3回目となる緊急事態宣言が発令されました。これに先立ち感染拡大に伴う医療崩壊の危機に対して、一般社団法人日本作業療法士協会は以下の声明を出しています。

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、医療関係9団体から「医療緊急事態宣言」が発出されるなど、医療崩壊の危機が迫っています。我々は、移動や日常生活動作等に強い理学療法士、作業療法士が、体位変換や患者搬送、更衣等の病棟業務をサポートすることで、コロナ第3波における看護業務を効果的に支援することは可能と考えています。この医療崩壊の危機を乗り越えられるよう、全国的にこの医療チーム活動が展開されることを切に願います。」（https://www.jaot.or.jp/covid-19/support_team/）

具体的な内容として、一般病棟における血圧、脈拍等の基本的なバイタル測定、検査等への患者搬送、患者の衣食サポートや、ICU を含む重症患者病棟における意識障害患者の褥瘡予防のための体位交換等があげられています。医療チームという考え方は、このような未曽有の緊急事態にこそ重要視されるべきではないでしょうか。資料等（COVID-19感染対策 / 作業療法業務について Ver.3：https://www.jaot.or.jp/covid-19/gyoumu_vol3_movie/）を参考にしながら感染予防に関する教育を十分に実施した上で、医療崩壊の危機への対応を期待しています。

余暇活動を含め参加制約を余儀なくされる今日ではありますが、このような状況においても患者主体の生活を支援出来る専門職として、活躍される事を切に願うばかりです。

大阪作業療法ジャーナルに広告を出しませんか

大阪作業療法ジャーナルは年２回（１月と７月）発行しています。大阪の作業療法士が学術的発表や特集などを通じ学ぶ雑誌です。大阪府作業療法士会会員（現在会員数2,500人）や大阪の作業療法学科養成校に配布され、一般にも販売されています。

広告はモノクロで A4 １ページ ３万円、1/2ページが２万円となります。

広告を希望される場合は、大阪府作業療法士会事務局までお願いします。

〒540－0004 大阪市中央区玉造2－16－8
玉造井上ビル6階
TEL：06－6765－3375
FAX：06－6765－3376
E-mail：jimu@osaka-ot.jp

大阪作業療法ジャーナル
第35巻　第1号

発行人：関本 充史
（一社）大阪府作業療法士会
〒540-0004 大阪市中央区玉造2-16-8 玉造井上ビル6階
TEL：06-6765-3375　　FAX：06-6765-3376
URL：http://osaka-ot.jp　　E-mail：jimu@osaka-ot.jp

出　版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793　FAX：096-386-2025

定価1000円